

議会等改革推進特別委員会

12月21日、法政大学法学部 土山 希美枝 教授を招き、「開かれた議会に向けた取組を考える」をテーマに研修会を開催しました。

研修会には15人の議員が参加し、講師からは、「多くの住民は議会活動を知らない。地方議会は社会にある多様な意見を公開のヒロバで議論し、決断することで、市の政策や制度をより良い状態に向かわせる『政策議会』であるべき。無限にあるまちの課題の中から、市民との意見交換を通して抽出し、話し合い、議会として決断する。その過程や市民の声をもとに出された意見の成果を市民に伝える仕組みが必要」との説明を受けました。

また、全国の地方議会の開かれた議会に向けた先進的な取組についても学び、理解を深めました。



さばえの未来に向けた特別委員会

11月15日に、福井県未来創造部 藤丸 伸和 部長を招き、県が令和2年7月に策定した「福井県長期ビジョン」についての研修会を開催しました。

令和2年策定の福井県長期ビジョンは、北陸新幹線金沢・敦賀間開業など、100年に1度の大きなチャンスを迎える一方で、人口減少という課題を抱える福井県にとって、今後20年の指針となるものです。これは、鯖江市が2040年の展望を見据え、現在策定中の「(仮称)鯖江市将来ビジョン」にも関わります。

講師からは、基本理念や目標のほかに、策定には、県内各地の様々な年代や分野の方との意見交換等を行い、「県民の声」を生かしたビジョンづくりを心がけたことや、毎年度の主な施策を「実践目標」として公表・実行していること、ビジョンの広報にも努めていることなどの説明を受け、住民参加の下での策定や、策定後その実践を進めていくことの重要性について理解を深めました。



総務委員会

【議案第80号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

危険ブロック塀の安全対策への支援は？

200万円

説明 9月に民家のブロック塀が崩れ、小学生が負傷する事故が発生した。その後、市民から除去等の補助への問合せが急増し、現在39件の申請がある。当初予算で計上した100万円に加え、10月に300万円を追加したが不足するため、さらに200万円を追加する。

問 これまでの通学路現地調査で、対応が必要とされた箇所はどれくらいあったのか。また、その中で今年度に申請があった件数は。

答 平成30年調査時の未対応55件に、今年度の調査で追加された24件を合わせた79件の対応が必要と考えられ、そのうち申請は3件あった。通学路以外にも、対応が必要と考えると考えられるため、所有者や管理者に対し、補助メニューを活用した除却などの安全対策を啓発していく。



危険ブロック塀の安全対策を

【議案第94号】 さばえSDGs推進センターにおける指定管理者の指定について

さばえSDGs推進センターの指定管理者の応募状況は？

説明 令和6年度から指定管理者制度が導入されるさばえSDGs推進センターについて、こしの都ネットワーク(旧:丹南ケーブルテレビ)が100%出資している(株)メディアビジョン1件から応募があり、5年間(R6.4.1～R11.3.31)の指定管理者候補者として選定した。

意見 候補者は、メディア企業として、テレビやSNSなどを活用した情報発信を得意としていると思われるが、それにとどまらず、あらゆる面で開拓精神をもって、事業を実施してほしい。

答 メディア企業としての特性を生かした事業展開はもとより、エンターテインメント、スポーツ、文化などの分野を活用し、SDGsの推進、市民への啓発や浸透に力を発揮してもらえ、ことと期待している。



様々な分野を活用した事業展開に期待